

第21回 地理情報システム学会 学術研究発表大会

期日：2012年10月13日（土）

2012年10月14日（日）

場所：広島修道大学

- * 大会プログラム（口頭発表/ポスターセッション発表）
- * 特別セッション（無料）のご案内
- * ハンズオン・セッション（無料）のご案内
- * 機器展示案内
- * 会場図

懇親会：10月13日 18:30~21:00

場所：ひろしま国際ホテル

会場へのバスは6号館1階玄関前、17:40頃から順次出発

当日の参加のお申込みは、正午過ぎから受付、

または18:30頃から直接会場で承ります。（先着35名）

大会プログラム概要

10月13日(土)

	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	ポスター会場	会場G
9:00-10:40	特別セッション (1) : 地方自治体における地理空間情報の新たな活用方法について △	土地利用	防災(情報整備)	データ作成1	データ精度	歴史・考古1		
10:50-12:30	特別セッション (2) : マイクロジオデータの普及と都市・地域分析での利活用	特別セッション (3) : FOSS4G日本語ローカライズの現状と課題	防災(分析)	データ作成2	理論	歴史・考古2	ポスター展示	
14:00-15:40	特別セッション (4) : 社会経済データの研究における利活用1	国際シンポジウム1	防災(リスク評価)	データ取得1	システム開発1	移動データ1	ハンズオン・セッション(1)	
15:50-17:30	特別セッション (5) : 社会経済データの研究における利活用2	国際シンポジウム2	防災(防災計画)	データ取得2	システム開発2	移動データ2		
18:30-21:00	懇親会(会長挨拶、表彰式等)							

10月14日(日)

	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	ポスター会場	会場G
【特記以外】 9:30-11:30	特別セッション (6) : 持続安定的な地域の情報基盤確保に向けて～アカデミック地域情報サポート～ズクラブ	教育 【9:50-11:30】	防災(被害予測) 【10:10-11:30】	地域分析1 【9:50-11:30】	自然・環境 【9:50-11:30】	居住	ハンズオン・セッション(2)	
12:30-14:10	特別セッション (7) : 日本学術會議の地理基礎・歴史基礎必修化の提言と学校におけるGIS教育	特別セッション (8) : 人の流れに関するデータ計測、整備、利用を横断的に考える	データベース構築1	地域分析2	施設配置1	移動行動分析1	ハンズオン・セッション(3)	
14:20-16:00	特別セッション (9) : 震災時の経験を基にしたGISを用いた行政支援の可能性	自治体	データベース構築2	可視化	施設配置2	移動行動分析2		
16:20-16:40	閉会式(優秀発表賞の表彰を含む)							

1/10/13(土)		会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F
「特別セッション」(1) 地方自治体における地理空間情報の新たな活用方法について	B-1: 土地利用 C-1: 防災(情報整備) D-1: データ作成(1) E-1: データ精度 F-1: 歴史・考古(1)	20世紀のアジア大都市 における土地利用変化 と地形条件との関係 -オーガナイザー: 青木 和人	山下重紀郎 Estoque Ronald+ Murayama Yuji	Luis Carlos Manrique Ruiz and Kayoko Yamamoto	Qian Guixia and Jiang Yong	山下潤	会場A 会場B 会場C 会場D 会場E 会場F 会場A 会場B 会場C 会場D 会場E 会場F
「特別セッション」(1) 地方自治体における地理 空間情報の新たな活用 方法について	B-1: 土地利用 C-1: 防災(情報整備) D-1: データ作成(1) E-1: データ精度 F-1: 歴史・考古(1)	つくば市巣巣災害対応 における地理空間情報 の活用と効果	前川友樹・中條雅裕・ 荒木俊輔・荒井一 幸・伊井康成・神谷泉・小 荒井 博	災害時ににおける全住民 位置情報を重要な性質を 有する建物同定の高速化 ～車・日本大震災時の福 島県相馬市における震災 GPS活用による震災 説明発行システムの事 例～	池田健虎・秋山祐樹・ 仙石裕明・柴崎亮介 長谷川晋一・卯田強 奥田義秀・西澤明山・ 田畠聰・柴崎亮介・熊 谷潤・相良毅・嘉山陽 一・大伴真吾	新旧住宅地図における得 来人口推計手法による得 来研究 池田健虎・秋山祐樹・ 仙石裕明・柴崎亮介 少路健太・木實新一 市川創	会場A 会場B 会場C 会場D 会場E 会場F
「特別セッション」(1) 地方自治体における地理 空間情報の新たな活用 方法について	B-1: 土地利用 C-1: 防災(情報整備) D-1: データ作成(1) E-1: データ精度 F-1: 歴史・考古(1)	つくば市巣巣災害対応 における地理空間情報 の活用と効果	前川友樹・中條雅裕・ 荒木俊輔・荒井一 幸・伊井康成・神谷泉・小 荒井 博	災害時ににおける全住民 位置情報を重要な性質を 有する建物同定の高速化 ～車・日本大震災時の福 島県相馬市における震災 GPS活用による震災 説明発行システムの事 例～	池田健虎・秋山祐樹・ 仙石裕明・柴崎亮介 長谷川晋一・卯田強 奥田義秀・西澤明山・ 田畠聰・柴崎亮介・熊 谷潤・相良毅・嘉山陽 一・大伴真吾	新東名自動車道における情報 入手と伝達方法の特性 ～愛媛県くは市の特徴 アンケート調査を事例と して	会場A 会場B 会場C 会場D 会場E 会場F
「特別セッション」(1) 地方自治体における地理 空間情報の新たな活用 方法について	B-1: 土地利用 C-1: 防災(情報整備) D-1: データ作成(1) E-1: データ精度 F-1: 歴史・考古(1)	つくば市巣巣災害対応 における地理空間情報 の活用と効果	前川友樹・中條雅裕・ 荒木俊輔・荒井一 幸・伊井康成・神谷泉・小 荒井 博	災害時ににおける全住民 位置情報を重要な性質を 有する建物同定の高速化 ～車・日本大震災時の福 島県相馬市における震災 GPS活用による震災 説明発行システムの事 例～	池田健虎・秋山祐樹・ 仙石裕明・柴崎亮介 長谷川晋一・卯田強 奥田義秀・西澤明山・ 田畠聰・柴崎亮介・熊 谷潤・相良毅・嘉山陽 一・大伴真吾	新東名自動車道における情報 入手と伝達方法の特性 ～愛媛県くは市の特徴 アンケート調査を事例と して	会場A 会場B 会場C 会場D 会場E 会場F

会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F
特別セッション② 特別セッション③	特別セッション④ 特別セッション⑤	C-2: 防災(分析) D-2: データ作成②	E-2: 災害 F-2: 地震・考古②		
FOSSG日本語データの書 き方とデータの活用 —東日本大震災後の比較—	FOSSGIS日本語データの書 き方と都市・地域分析での 活用	2007年新潟県中越沖地震 における柏崎市建物 被害の現状と課題 被災の空間分析	原群座標データを利用し た空間統計モデルを用い た公示地図・都道府県 道路中心線 整備手法 地図調査の評価地点の 配置問題	国土人形データベース 一主題と表現の地理的 多様性-	
オガナイサー: 祐樹 一	オガナイサー: 増山 一	今井龍一・井星 雄貴・ 佐々木 善一・岩切 照 義・今西 晓久・小山 裕 也	Daisuke Murakami and Morito Tsutsumi	河野 一隆・藤田 晴啓	
長尾 拓真・山崎 文雄 佐山 麟成・宋 軒・張 全 世・柴崎 亮介	花田 史吏・曾 翩・荒木 後 輔・花崎 賢一	善積 竜希・五島 洋行・ 鳥川 曜一・三上 貴 貴	数値標高モデルを用い た特徴点抽出方法の検 討	昭和以前の関東地方 の土地利用分布図の作 成	
都市内部における津波 浸水域の土地利用変化 —北海道小樽市を事例 として—	鉄道沿線駅構内調査支援 ツールの開発	オフショット間の時間間 隔の遷移パターン	旧淀川を中心とした都 市淀、遷の把握		
川村 壮・橋本 雄一	吉川悟・中山 忠雅・清 水智弘・北畠 来一・德 田 浩一郎・内田 修	太田 守重・倉田 陽平	西本 貴洋・吉川 真・田 中 一成		
熊谷 樹一郎・安野 真 琴・相本 敏志	曾 翩・荒木 後輔・疏崎 賢一	KO-traceを用いたMMS データからの建物壁面 等での抽出手法	葛飾区「高輪三十六 景」「甲州三坂水面」に おける写実性について		
いわき駅周辺における 落書きの空間的分布 —東日本大震災後の 比較—		三次元地図の解析分野 等での利用について	宇山 直子・高阪 宏行		
吉村 忠晴・川崎 後郎		オフショット指向空間解 析・空間オブジェクト分 布関係の外用的解析 手法	高阪 正志・関根 智子・ 宇山 直子		

会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	会場G	会場H	会場I	会場J	会場K	会場L	会場M	会場N
14:00 特別セッション(4) - 社会経済データの研究 15:40 における利活用	B-3: 地質・ソルトウム(O-3: 防災リスク評価) Simulating Deforestation Spatial Analysis of trends of Dzalanyama forest reserve in Malawi: A Case Study of Tokyo, Japan using a spatial agent model	E-3: システム開発(1) 大陽光発電日射評価への詳細地図情報の適用と検証	D-3: データ駆動(1) Twitterからの震災時の行動経路および交通情報の自動抽出と可視化	F-3: 移動データ(1) クラウド・モーリングを用いたデータの複数共有システムの開発	15:50 特別セッション(5) - 社会経済データの研究 17:30 における利活用	B-4: 國際シンポジウム(C-4: 防災リスク評価) The spatial distribution of primary care clinics in an urban city in Korea	D-4: データ収集(2) 自立的な津波ハイザードマップ作成のためのPM手法適用に関する一考察	E-4: システム開発(2) 版売情報技術に関する基礎的検討	F-4: 移動データ(2) 長距離地域における位置情報と共有サービスの設計と実現に関する研究				
オーガナイザー: 貞広 幸雄・眞広 真子	Kondwan Muthali Konstantin Greger	中村元・岸本直子	武市信・渡辺公次郎・辻泰光男	石野亞耶・小田原周平・難波英輔・竹澤幸	オーガナイザー: 貞広 幸雄・眞広 真子	Kwangsso Lee	深田秀実・橋本雄一	清水智弘・吉川真・田中一成	吉村大希・有川正俊・木實新一・藤田秀之	大野夏海・関本義秀・中村敏和・Horanont Teerayut・柴崎亮介			
A Grid-based Modeling for Climate Change Impact Assessment on Watershed Hydrology	大気乱流モデルとGISを用いて農業物産地図の環境リスクの評価	高品質DSM生成のための属性評価システム	IMoSを使用した屋内位置情報共有システムの評価	長期に渡る携帯ナビ移動履歴を用いたユーザ行動分析手法の検討		GPSログを用いた観察行動推定方法の改善	GPSログを用いた観察行動推定方法の提案	参加型センシングによる電車混雑度推定手法の提案	地域防災とGISの利用による車両混雑度推定手法の提案	大規模移動データの可視化システム			
Seong-Joon Kim, Geun-Ae Park, & Hyuk Jung	石井 真和・山本 佳世子	中條 弘裕・前川 友樹・荒木 後輔・柴崎 貴一	熊谷 潤・金井 洋・清水 洋平・松原 哲・日野 省三・柴崎亮介	柴崎 真理子・藤田 秀之・木實新一・有川 正俊	Seul-gi Lee, Sung-gwan Jung, Kyung-hun Park, Woo-sung Lee, & Jong-wan Park	Seul-gi Lee, Sung-gwan Jung, Kyung-hun Park, Woo-sung Lee, & Jong-wan Park	笠尾 知世・木實新一・藤田 秀之・有川 正俊	日井 真人・福山 薫・小池 肇・長井一浩・山口 美帆子	杉森純子・関本義秀・金井 洋・大伴 真吾				
Extraction of a stream from satellite images	密集市街地の空間性状と大地震時の避難困難度	空中写真的精密オルソ化方式	位置情報付き写真管理	GPSログを用いた位置情報付き写真管理	The study of utilization of RMGIS(River Information Management System) for the efficient management of dynamic changes data in river	RMGIS(River Information Management System)の利用に関する研究 -事前復興の視点から-	参加型センシングによる電車混雑度推定手法の提案	地域情報の交流・蓄積構築	大規模災害情報の交換・蓄積構築				
Yun Jae CHOUNG, Hyen Chel PARK, & Myung Hee JO	沖祐弥・大佛俊泰	村上 順・前川 友樹・荒木 後輔・柴崎 貴一	古川 修・中山 忠強・清水 和久・山根 隆弘	川瀬純也・倉田 陽平・川瀬 順也	Kyung Jun KIM, Hyun Jung KIM, Hyung Sub KIM, & Myung Hee JO	佐藤 正之・宮入 興一・寺澤 満	大野 航・木實新一	山田 優士・山本 佳世子	上山 哲士・秋山 祐樹・柴崎 亮介				
Mapping national terrain/slope stability for disaster prevention using parameterized GIS datasets	平日と休日における帰宅困難者数の比較分析	自動オルソ化に向けた位置情報の新しい高精度測位アルゴリズムの提案	位置情報に基づく質問回答	GPSデータを用いた商業施設地来訪者の行動パターン抽出方法の検討	Interactive Online GIS System for Massive Surveyed Person Trip Data Visualization and Space-Time Analysis	自動による防災対策の空間的差異の現状とその効果的な自助向上策の検討	道路網を用いた上下水道管路の延長分布の推定	時空間データベース処理による震災履歴申請手続	GPS履歴を教師とした機械学習による震災履歴に基づく個人行動の分析				
Kon Joon Bhang, Jin-duk Lee, Gyungup Lee, & Changwan Kim	濱田 時彦・大佛 俊泰	米川 勝士	木實新一	羽田野 真美・上山 哲士・秋山 祐樹・柴崎 亮介	Ko Ko Lwin and Yuji Murayama	有馬 昌宏・有馬 典孝	小林 明美・山崎 文雄	角木 繁・Adelpha Engels・畠山満則	金井 洋・関本 義秀・黒川 茂樹・渡邊 孝文・村松 康介				
災害時の避難プロセスの観点からの都巿整備状況の広域分析	位置情報と地図によるストーリー制作ツイッターアカウント	PhotoField: 写真と地図による街路景観評価	PhotoField: 写真と地図による街路景観評価	リアルマップ整備ガイド	Comparison of surface temperatures between Kyoungbin Park, Sookuk Park, Taekyung Baek, Byongwoon Jun, & Yongseung Kim	リアルマップ整備ガイド	リアルマップ整備ガイド	リアルマップ整備ガイド	リアルマップ整備ガイド	Webベースの旅行プラン作成支援システムCT-Planerの対応地図拡大ヒントスタート化			
熊谷 栄一郎・細尾 真貴・高木 孝文			藤田 秀之・有川 正俊							後成 田口 仁・和田 敏・長坂 佐藤 俊明・山本 耕平	倉田 陽平		

会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	会場G	会場H	会場I	会場J	会場K	会場L	会場M	会場N	会場O	会場P	会場Q	
9:30 特別セッション(6) 接続安定的な地域の情 報基盤構築に向けた～ アカデミック地図情報サ ポートアズクラフ	B-5: 教育 【9:50より開始】	C-6: 防災(被害予測) D-6: 地域分析(1)	E-5: 自然環境 【9:50より開始】	F-5: 居住 【9:50より開始】	E-6: 地域分析(2) 【9:50より開始】	C-6: データベース構築 【9:50より開始】	E-D: 地域分析(3) 【9:50より開始】	E-6: 施設配置(1) 【9:50より開始】	F-6: 移動行動分析(1) 【9:50より開始】	会場E	会場F	会場G	会場H	会場I	会場J	会場K	
11:30 接続安定的な地域の情 報基盤構築に向けた～ アカデミック地図情報サ ポートアズクラフ オーガナイザー: 畑山 満則	高校における空間情報 科学の確立に関する考 察～これまでの実績を 踏まえて～	長野県における二ホンジ カ・ツキノワグマの生息 分布変化と環境条件と の分析	都市における隙間空間 都市の特性	長野県における高齢世 帯の居住ハーベンと地 域の類型化	村上 彩夏・大佛 俊泰 中山 駿・田中 一成・ 吉川 真	村上 彩夏・大佛 俊泰 召船 栄原拓也・河 端 端貴・高橋 孝明 橋本 横	長野県における高齢世 帯園芸におけるニホンジ カ・ツキノワグマの生息 分布変化と環境条件と の分析	張 喜峰・澤田 貴行・蒋 湧	助産師の地域的分布か らみた医療資源の地域 格差に関する研究	事業集積の実証研究に おけるGISデータモデル の構造	事業集積の実証研究に おけるGISデータモデル <景観資源の発見	助産師の地域的分布か らみた医療資源の地域 格差に関する研究	東京都北部の分布か らみた医療資源の地域 格差に関する研究	東京都北部の分布か らみた医療資源の地域 格差に関する研究	東京都北部の分布か らみた医療資源の地域 格差に関する研究	東京都北部の分布か らみた医療資源の地域 格差に関する研究	
14:10 徒歩基礎必修化の 提言と学校におけるGIS 教育	高校における行動調査 における人材育成支援 の危険性を伴う建築物 の抽出手法の検討	地理名稱の指す空間的 領域に関する研究	古墳地形を考慮した中積 層基底面の推定手法 として	古墳地形を考慮した中積 層基底面の推定手法 による景観要素が住宅価格 に与える影響の研究	近江屋 一朗・真鍋 陸太 小澤 浩眞・佐藤 俊明・ 島村 秀樹	近江屋 一朗・真鍋 陸太 小島 哲哉・貞庶 幸雄・ 浅見 泰司	近江屋 一朗・真鍋 陸太 花鳥 裕樹・木村 克己 吉武 くらら・横田 政	近江屋 一朗・真鍋 陸太 花鳥 裕樹・木村 克己 吉武 くらら・横田 政	ヘニックス回帰分析によ る駅熱力圏の設定と 公共交通センサスによる駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	階層的な隣接地域結合 操作に基づく点事象の 時空間集積検出の提案	階層的な隣接地域結合 操作による駅熱力圏の設定と 公共交通センサスによる駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	新潟県上越市における駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	新潟県上越市における駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	新潟県上越市における駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	新潟県上越市における駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	新潟県上越市における駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案	新潟県上越市における駅 熱力圏の設定と公的医療機 関の立地－ 時空間集積検出の提案
14:30 特別セッション(7) 「歴史基盤必修化の提 言と学校におけるGIS 教育」	地理学的知識の地理基 盤必修化の提言と学校 におけるGIS教育	地理名稱の指す空間的 領域に関する研究	古墳地形を考慮した中積 層基底面の推定手法 による景観要素が住宅価格 に与える影響の研究	近江屋 一朗・真鍋 陸太 花鳥 裕樹・木村 克己 吉武 くらら・横田 政	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	井上 美恵子	
12:30 特別セッション(8) 「人の流れに関するデーター ーの活用～音源測定、整備、利 用を横断的に考える」	日本学術会議の地理基 盤必修化の提言と学校 におけるGIS教育	都市における隙間空間 都市の特性	長野県における二ホンジ カ・ツキノワグマの生息 分布変化と環境条件と の分析	村上 彩夏・大佛 俊泰 李 召船 栄原拓也・河 端 端貴・高橋 孝明 橋本 横	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	羽室 早英・伊藤 史子	

ポスター・セッション

会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F
特別セッション(9)					
震災時の経験を基にしたGISを用いた行政支援の可能性	B-7: 自治体GIS C-7: データベース構築(D-7: 可視化)	小地図帳系統列記録データベース構築型情報システムの機能要件	歩行者の利用を考慮し、犯罪の空間分析への応用可能性の検討	スマートフォンセンサーサを用いたパーソナルピーカーの安全性に関する研究	F-7: 移動行動分析(2)
オーガナイザー: 畑山 淳則	石井 優光・寺木 彰浩・飯大・丸山 智康・岩田 吾	雨宮 譲・岩倉 希	深澤 公哉・窪田 輪・市川 前・阿部 昭博	青木 和人	薄井 駿哉・山田 健太・森川 高行
建設系の現地調査によるGISを用いた行政支援の可能性	地方自治体におけるGIS導入・運用へのプロジェクト手法適用の検討	仙台市秋保地区におけるGIS導入・運用へのプロジェクト手法適用の検討	井上 庄了歴史旅行データベース構築と下水流量推定に関する調査研究	東南アジアにおける輸送開拓別の施設配置に関する研究	スマートフォンデータを利用した都市計画路網に対する行動の観察化に関する研究
今井 修	林典之・深田 秀実・青木 和人・今井 修	川村 広則・須藤 諭	森洋久・三井 大輔・藤田 善啓	渡部 大輔	李 勇鶴・佐藤 俊明・岡部 宏行
道路維持管理の現場利用者感じた台帳管理システムの開発	WFSとデータベースを併用したデータベース構築の参加型GIS活動	DASHメント地域におけるWFSとデータベース構築	地域間流動量の観測的表現法に関する研究	ネットワーク空間分析を用いた都市計画路整備効果について	大規模移動データを用いた商業地域における来訪者の特性分析
坂本 大介・窪田 輪・市川 前・阿部 昭博	森田 洋明・Hendra	森田 淳史・三谷 繁浩・池見 洋明・Pachini	宗永 幸哉・井上 亮・清水 美範	熊谷 樹一郎・庄田 直弘・細尾 一貴	秋山 祐樹・上山 習士・Terayat・仙石 格明・柴崎 実介
気きマップによる特徴的参加型GIS活動	今井 修	嘉山 陽一	岡本 裕紀・秋山 祐樹・上山 習士・柴崎 実介	栗原 拓也・李 召熙・高橋 幸明	豊野 祐介・深田 秀美・橋本 雄一
東日本大震災地域における自治体GISの実態と震災復興計画基盤データ活用による基盤地図情報の整備・更新	東日本大震災地域における自治体GISの実態と震災復興計画基盤データ活用による基盤地図情報の整備・更新	絵図を基にした地図分布による都心の空間構造と新潟県のまちあるきマップの作成について	小売企業の立地分布による都心の空間構造と新潟県のまちあるきマップの作成について	航空旅客客室の時空間ネットワーク	鳥海 重喜
碓井 照子	後藤 寛	藤田 晴啓・太田 和宏	藤田 晴啓・太田 和宏	小売企業の立地分布による都心の空間構造と新潟県のまちあるきマップの作成について	航空旅客客室の時空間ネットワーク

特別セッション

■特別セッション（1）：地方自治体における地理空間情報の新たな活用方法について

オーガナイザー：青木 和人

自治体 GIS を取り巻く環境は、府内システムやウェブシステムなどの独自構築という枠を超えて Google Map などインターネットに依存する GIS を活用したものへと変化している。今後自治体 GIS に求められるものは、重厚長大な施設管理システムの維持だけではなく、誰もが容易に空間情報を操作し、加工し、構築できるシステム環境と、それを実現する人材育成である。さらに構築された優良な行政情報をいかにして地域づくりに生かせるかということである。

本セッションは、自治体 GIS をリードする者と、これから GIS を活用しようとする者が、「基盤地図」、「空間情報」、「システム」そして「人材」について、自治体 GIS に内在する課題を洗い出し、提起するためのパネルトークを展開する。

■特別セッション（2）：マイクロジオデータの普及と都市・地域分析での利活用

オーガナイザー：秋山 祐樹

昨年「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会が発足し、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学が共同で議論する場が生まれました。マイクロジオデータとは近年利用可能になりつつある、デジタル住宅地図や電話帳のような空間的精度と網羅性が非常に高いデータや、モバイル統計、GPS ログ情報、パーソントリップデータ、Web から収集出来る情報など加工余地が高いミクロスケールの非集計データのことと言います。既存の各種統計データでは実現し得なかった時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。

本セッションでは昨年に引き続き本研究会の紹介を行うとともに、マイクロジオデータを用いた研究を行っている研究者による研究紹介や、今後マイクロジオデータの利活用が期待される官民の領域の実務者などによる講演が行われる予定です。今年は特にまちづくり・中心市街地活性化・高齢化といった都市・地域研究に関連した研究者や実務者にお集まり頂きます。マイクロジオデータ開発と利活用の最先端を知っていただくとともに、研究者同士が持つマイクロジオデータのシーズとニーズを結びつけて活発な議論が交わされることを期待しています。

講演予定（講演タイトルは何れも仮題です）

- ・「マイクロジオデータ研究会の紹介」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 秋山祐樹

- ・「マイクロジオデータの紹介とマイクロジオデータ研究の最前線」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 秋山祐樹

- ・「大規模モバイルデータを用いた国土スケールの人流の可視化」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 上山智士

- ・「タウンページデータベースを用いた広島市の商業分析」

広島修道大学商学部商学科 川瀬正樹

- ・「広島市佐伯区における地域起こし活動について」

広島市佐伯区地域起こし推進課 高橋正弥

公開ディスカッション

コーディネーター：東京大学空間情報科学研究センター 柴崎亮介

本セッション紹介ホームページ <http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/?p=490>

■特別セッション（3）：FOSS4G 日本語ローカライズの現状と課題

オーガナイザー：嘉山 陽一

近年インターネットの世界が拡大することによってオープンソースソフトウェアの開発と普及が加速しています。地理空間情報に関するオープンソースソフトウェア（FOSS4G）に関しても種類の増大や機能の向上が顕著です。これらの FOSS4G は政府や企業での利用から研究機関や個人での利用まで様々なスケールと目的で使われています。開発や利用促進については国際的なコミュニティによって進められていることが多いです。ただし、これらコミュニティに日本からの参加者は少なく国内での GIS 利用と FOSS4G の発展の間には少しギャップがあるようです。

QuantumGIS については近年プログラムやドキュメントの日本語が行われたせいか国内での利用例も急激に増加しています。ユーザが増加すればそのソフトウェアの利用方法や問題点の共有も進み、結果としてツールが利用しやすくなるといえます。

本セッションではいくつかの FOSS4G ツールや関連する環境のローカライズ状況の事例、方法、課題の発表を行い、それらツールの利用環境を向上させていくための情報交流をパネルディスカッションで行いたい。

■特別セッション（4, 5）：社会経済データの研究における利活用

オーガナイザー：貞広 幸雄・貞広 斎子

近年、収入・支出推計やジオデモグラフィクスデータなど、社会経済データの普及が急速に進みつつある。こうしたデータは、マーケティングでの利用を想定したものが多いが、研究上も有用であるものが少なくない。そこで本セッションでは、様々な利活用例を通じて、社会経済データの研究面での有用性を評価する。

講演予定

1. 社会経済データに基づく地域分類の比較検証 貞広 幸雄
2. 東京都区部における外国人居住のジオデモグラフィクス 矢野 桂司・桐村 喬
3. 保健医療支出からみた地区類型に関する一考察 山田 育穂
4. 居住者属性分類を用いた広域的土地利用把握の試み 相 尚寿・貞広 幸雄
5. 検索エンジンを用いた都道府県のマッピング 星田 侑久
6. 東京都内の世帯の居住関連消費支出の傾向に関する基礎分析
伊藤 史子・岡野 麻奈・市川 拓弥・貞広 幸雄
7. 学校外補習学習費の支出傾向と地域特性 貞広 斎子
8. 経済学関連分野における GIS 活用の現状と課題 河端 瑞貴
9. 時系列売上推定データを用いた食料品店の閉店確率予測モデル 関口 達也・貞広 幸雄

■特別セッション（6）：持続安定的な地域の情報基盤確保に向けて

～アカデミック地域情報サポートーズクラブ

オーガナイザー：畠山 満則

近年の人口減少や予算縮減などの近年の課題を解決しつつ、地域の活力を保持するためには、各地域の情報基盤の存在は欠かすことができず、その維持・活性化のためには、大学関係者に期待される要素は大きい。一方で、助言するためには、政策動向、技術動向、社会ニーズ等についても、普段からの大学関係者の横の連携で、一定の共通認識をはかることも重要な思われる。そこで、本ワークショップでは、1年強実施してきた「アカデミック地域情報サポートーズクラブ」その他の活動の取組紹介や、外部の立場から大学関係者に期待したいこと、るべき方向性などをディスカッションする。

■特別セッション（7）：日本学術会議の地理基礎・歴史基礎必修化の提言と学校における GIS 教育

オーガナイザー：碓井 照子

GIS の人材育成において重要なことは、児童・生徒の発達段階に応じた学校における GIS 教育の推進である。地理空間情報を日常的に利活用できる日本国民が育成され、大学において先進的で革新的な GIS 技術に取り組む多数の研究者層が形成される。

そのためには、学校教育の教育課程において必修科目の学習内容に GIS が系統的に取り入れられることが重要である。2007,2008 年に改訂された新学習指導要領では、地図/GIS に関する教育内容が大幅に増加した。しかし、高校地理歴史科教育では、世界史が必修であり、2006 年秋、高校世界史未履修問題が発生した。これは、教育課程の矛盾を露呈したものであり、日本学術会議では、5 年間にわたり、高校地理歴史科教育のあり方を検討し、2011 年 8 月に「新しい高校地理・歴史教育の創造—グローバル化に対応した時空間認識の育成—提言」を社会に公表した。その中で、地理基礎・歴史基礎の必修化を提言し、「地理基礎」では、地図/GIS の利活用をベースにした地理教育の方向性が示されたのである。このセッションでは、日本学術会議の提言をはじめ、eDesign による現場教師への GIS 支援活動、教育 GIS フォーラムの授業用 GIS データリンクの活動を紹介する。

■特別セッション（8）：人の流れに関するデータ計測、整備、利用を横断的に考える

オーガナイザー：関本 義秀

近年、交通・防災・観光・マーケティングの分野などでは、都市空間でダイナミックに変化する人々の流れを俯瞰したいというニーズが官民間わず見られるようになってきている。さらに携帯電話等の普及等でさらにリアルタイムでこうした流動を知ることも可能になってきており、世界的な大きなトレンドが出てきている。しかし、こうしたデータを大規模に得ようとすると、一般的には高価で、簡単に入手することは難しい。そこで本ワークショップでは、C S I S の共同研究で提供してきた「人の流れデータセット」を通じて、出てきた様々な研究アイデアに関する紹介や、今後のグローバルトレンドの中で、どのように先進性を確保していくかについて議論を行う。

■特別セッション（9）：震災時の経験を基にした GIS を用いた行政支援の可能性

オーガナイザー：畠山 満則

行政の行う災害対応業務には、GIS を利用することで業務効率化を可能にできるものが多く存在することが指摘されている。しかしながら、被災の度合いが激しく多様な災害対応業務に十分な職員が確保できない場合や平常時から積極的に GIS の導入を行っていない自治体が災害に直面した場合では、外部からの支援が必要となる場合もある。本セッションでは、阪神・淡路大震災、中越地震、中越沖地震、東日本大震災において災害対応の外部支援を行った経験をもとに災害時の行政支援の在り方について議論する。

ハンズオンセッション（1）～（3）

※会場の都合上、いずれも事前申し込みが必要です

■ ハンズオンセッション（1）：R で GIS ■

R 言語は、オープンソースでフリーソフトウェアの統計解析向けプログラミング言語、及びその開発実行環境です。統計処理や視覚化を得意としていますが、空間データの扱いにも長けており、地図作成も可能です。本セッションでは R を用いて、どんな空間分析ができるかを紹介し、一部の分析を実際に各自の PC 上で操作していただきます。

講 師： 星田 侑久

申込先： followingmemento@hotmail.com

対象者：プロプライエタリ、オープンソースを問わず、GIS ソフトウェアの利用経験のある研究者、実務者

参加費：無料（但し各自、PC を持参のこと）

■ ハンズオンセッション（2）：マイクロジオデータ講習会 ■

マイクロジオデータ研究会は昨年の発足後、これまでマイクロジオデータに関わる先端的な研究や事例を共有して参りました。このたびマイクロジオデータのより一層の社会における普及と利活用を促進すべく、演習形式の講習会を開催いたします。

講習会ではマイクロジオデータを活用した詳細な空間解析の演習を行います。第 1 回目となる本講習会ではデジタル住宅地図と電話帳を活用した詳細な立地評価を行います。

講 師： 秋山 祐樹

申込先： <http://goo.gl/AdFaz>

備 考： 講習会ではマイクロジオデータ研究会にてパソコンを用意いたします。
ご持参いただく必要はございません。

演習の際には QuantumGIS (<http://www.qgis.org/>) を用います。

講習会ホームページ： <http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/?p=495>

■ ハンズオンセッション（3）：R で空間統計 ■

時空間的なビッグデータが官民で利活用されるようになり、データ解析手法としての空間統計学の有用性が改めて認識されつつあります。本セッションでは、フリーの統計言語 R を用いて、空間リスク分析と内挿補間の二つの手法に関する講義と演習を行い、理解を深めることを目的とします。会場の都合上、受講には事前申込み（E-mail: maunz@sfc.keio.ac.jp）が必要です。

講 師： 古谷 知之

申込先： maunz@sfc.keio.ac.jp

対象者：R を使ったことはあるが R での空間統計解析に关心のある方、
環境リスクや空間疫学などに关心のある方

参加費：無料（但し各自、R 及び予め指定された R パッケージをインストール済みの PC を持参のこと）

機器展示案内　(受付順)

【 株式会社古今書院 】

展示：『GIS と地理空間情報 増補版』『図解 ArcGIS 10 Part1』ほか GIS 関連書籍

GIS 書籍の発行点数ナンバー 1 の出版社です。本学会の学術誌『GIS－理論と応用』の発売元にもなっています。今年も ArcGIS ver.10 に対応してリニューアルした『図解 ArcGIS 10 Part1』(佐土原聰編) など新刊が続々登場。GIS ビギナーからミドルユーチャまで、利用目的に応じた数々の書籍を展示し、すべて 15%引で販売します。出版企画のご相談も大歓迎。ベテラン編集者が対応します。

【 株式会社数理システム 】

展示：NUOPT (ニューオプト)

最適化ソフト NUOPT (ニューオプト) のご紹介を致します。GIS と関連する分野としましては施設配置問題・配送計画問題等、答えを出すのに困難な問題に対して協力にサポート致します。その他統計解析ツール S-PLUS やデータマイニングソフト Visual Mining Studio 、テキストマイニングソフト Text Mining Studio も合わせてご紹介いたします。

【 株式会社インフォマティクス 】

展示：空間情報システム SIS 7.1/空間情報クラウドコンピューティング GEO CLOUD

株式会社インフォマティクスの汎用 GIS ソフト「空間情報システム SIS 7.1」と「空間情報クラウドコンピューティング GEO CLOUD」サービスおよびモバイル端末を展示します。

【 オートデスク株式会社 】

展示：Autodesk Infrastructure Design Suite

GIS と CAD と 3 次元を融合することで都市計画から設計、施工、維持管理までをサポート、国土交通省の CIM (Construction Information Modeling) を支援するトータルソリューションを展示いたします。

【 FOSS4G 分科会 】

展示：OSGeoLive/ QuantumGIS GRASS

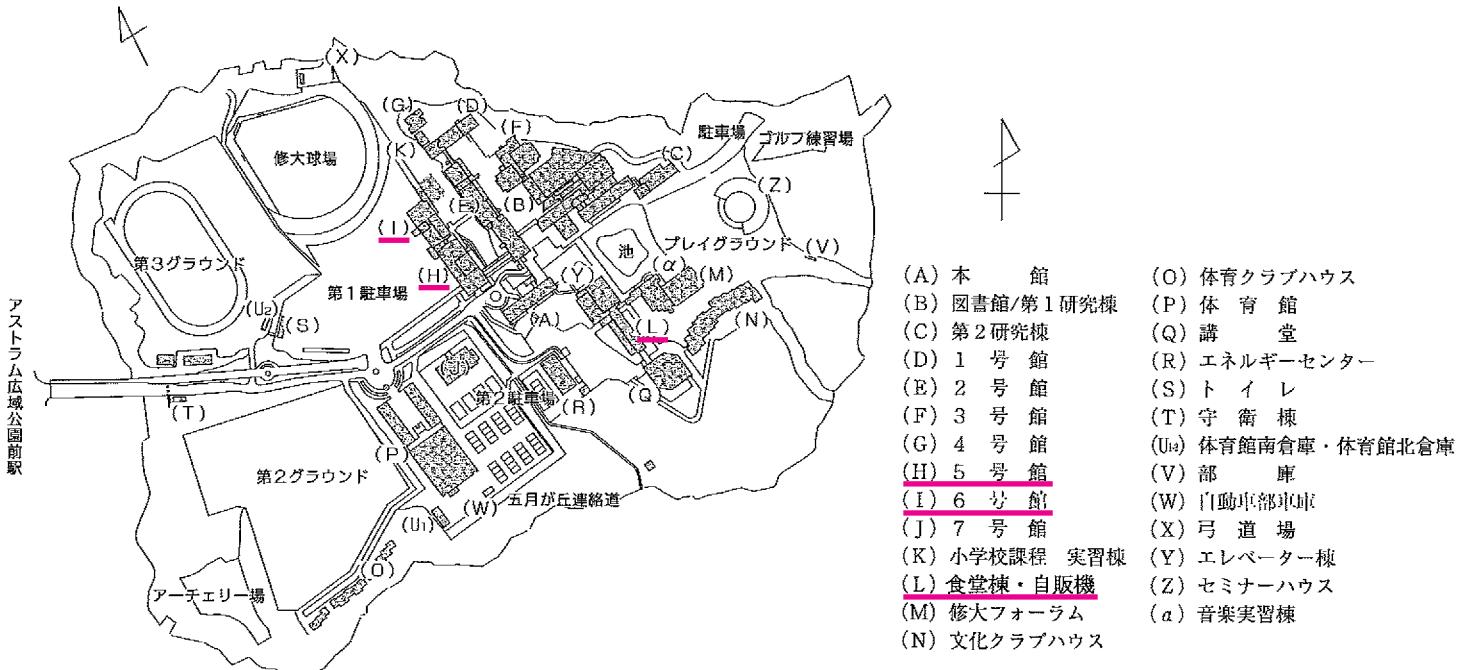
多数のジオ系オープンソースソフトウェアが格納されている OSGeoLive, 文部科学省委託研究『FOSS4G を活用した衛星データ利用のためのオープン・リソースの構築』の最終成果展示、配布を中心に地理空間情報に関するオープンソースソフトウェアの実演を行います。

【 ESRI ジャパン株式会社 】

展示：ArcGIS 10.1/ ArcGIS データコレクション 2012

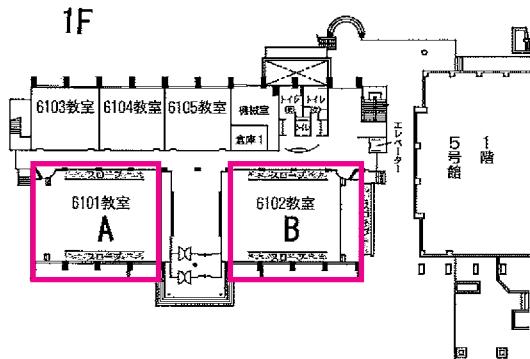
最新バージョン ArcGIS 10.1 がリリースされ、さらに使い易くなりました。ArcGIS 10.1 では、デスクトップ、サーバ、モバイル、Web アプリケーション、クラウドなど、あらゆる環境で GIS コンテンツやサービスを利用できます。また、ArcGIS Online では、GIS データの共有、編集、検索が可能です。これらを ArcGIS データコレクション 2012 とともにデモンストレーションを交えてご紹介致します。

広島修道大学施設設置図

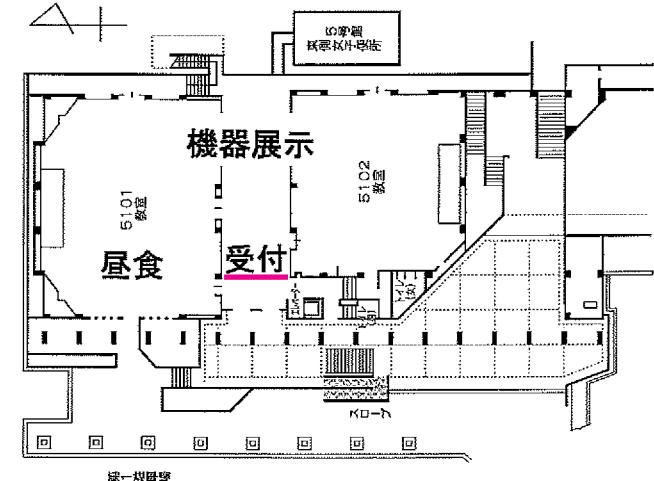


5号館

6号館

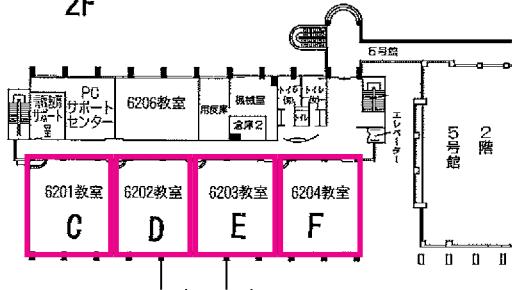


1F

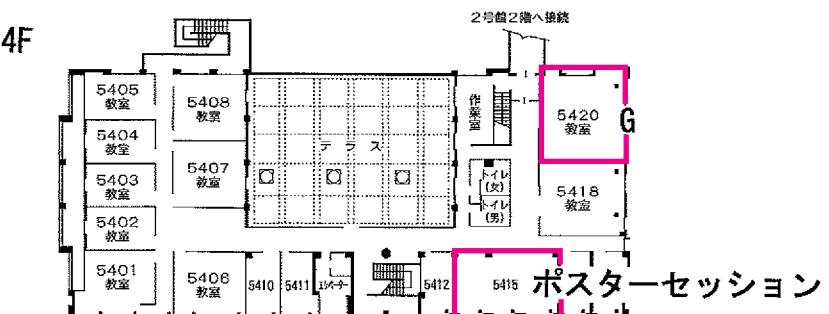


1階

2F



2F



ポスター・セッション



※トイレは、上記の他に校舎の各階にあります。学内のATMは土・日は利用できません。

生協とコピー機は土曜日 10:00～13:30のみで、コピーは専用コピーカード（1,000円）が必要です。

アストラムライン

広域公園前駅発 本通り行き

時	土曜・休日						
5	49						
6	09	26	39	52			
7	05	16	25	35	44	52	
8	00	08	16	24	33	41	51
9	01	11	21	31	41	51	
10	01	11	21	31	41	50	
11	00	10	20	40			
12	00	20	40				
13	00	10	20	30	40	50	
14	00	10	20	30	40	50	
15	00	10	21	31	41	51	
16	01	11	21	31	41	51	
17	01	15	23	31	39	48	57
18	06	16	27	39	51		
19	03	15	27	39	51		
20	03	15	27	39	51		
21	06	23	40	58			
22	17	36	55				
23	14	34					

すべて本通り行き

広域公園前一本通 470円 36分

広域公園前一県庁前 470円 35分

*紙屋町周辺へは本通か県庁前で下車

広域公園前一中筋 350円 22分

*広島空港行きバスは中筋で乗り換え

広域公園前一大町 350円 19分

*広島駅へは大町でJR可部線に乗り換え

広島電鉄バス

広島修道大学キャンパス発

横川駅経由 広島バスセンター行き

時	土	日祝日
10	36	36
11	36	36
12	36	36
13	16 56	16 56
14	36	36
15	36	36
16	36	36
17	36	36
18	36	36
19	36	36
20	36	

無印: 広島修道大学キャンパス発

*印: 広域公園前駅(広島修道大学
入口)発

広島修道大学—広島バスセンター

390円 最短26分

*紙屋町周辺は広島バスセンターで下車

広島修道大学—横川駅

360円 最短16分

*広島駅へは横川駅で山陽線に乗り換え